# 地域の話題 アレコレ

## 大田 保育園民営化やめよ 亀谷議員が討論

亀谷議員は、大田市立保育所の設置及び管理に関する条例及び大田市立学校設置に関する条例の一部を改正する条例制定への反対討論で、次のように述べました。

本条例案は、久手保育園・幼稚園を廃止し、民間の認定こども園へ移行するものです。公立保育園の民営化は、保育行政の公的責任をいっそう放棄するものです。子どものための財政措置を増やし、安心できる保育所、幼稚園を設置することが必要です。

採決の結果、共産党のみ反対しました。（「大田民報」より）

## 美郷 自治体のデジタル化 中原議員が質問

**中原議員**―地方制度調査会の答申では、役場窓口業務のオンライン化、手続き業務の無人化をめざすとされている。「人が要らなくなった。人員を削減する」、とかくそういう議論に転換されることを懸念している。

また、地方制度調査会では、行政のデジタル化及びその標準化や共同化、効率化、広域連携推進も謳われている。

子育て施策など町独自の優れた施策が「平準化」されることはないか。

**嘉戸町長**―施策の標準化ではなくて、事務手続きの標準化と理解している。具体的な施策については、やはり美郷町に合った、あるいは、町民のニーズの高い個別の施策、独自の施策を打っていく。（「中原保彦の議会報告」より）

# 大平よしのぶ 前衆院議員

アツく やさしく

## 共産党への期待 中国地方各地で

「中国地方のどんな小さな声も聞き逃さない」「中国地方の隅々に日本共産党の風を起こす」――議席を失って3年、捲土重来を期して、中国山地の奥深くから日本海に浮かぶ離島まで中国5県全土を駆け、この11月で中国地方全107自治体すべてに足を運ぶことができました。

中山間地の小さな自治体の首長さんたちに会ってきました。人口1400人の岡山県最東端の村、西粟倉村の村長は「地球の持続化のためにこの村で何ができるか、何をすべきかを考えてきた」と述べ、山を守り生かす「100年の森構想」にとりくんでいます。「日本の国土の7割を占める森林のための予算が国家予算全体の1%もない。1ケタ足りないじゃないか」と語気を強めておられました。

島根県の最西端、吉賀町では町営の小水力発電所の活用で450世帯分の電力と毎年6千万円の利益をあげ、それを財源に子育て支援策「3つのゼロ」（①子ども医療費18歳まで②保育料③給食費）を実現させたそうです。さらに町長は「町職員はこれからの時代、増やさねばならないと考えている」とも。その発想と決断にたいへん感動しました。

農林漁業や福祉に力を入れ、内需、地産地消に徹底してこだわる姿勢。これらの自治体の共通する努力は、この間の自民党政治、特に安倍・菅政権が切り捨ててきたこと、光を当ててこなかったことばかりです。同時に、私たち日本共産党のコロナ危機を乗り越え希望ある政治への「7つの提案」そのものでもあるのです。「保守」と言われる首長さんたちともたいへん響きあい、熱い期待の声がどこでも寄せられました。中国地方は日本共産党の躍進を切望しています。

107番目、最後の吉賀町に行った日の夜、妻がケーキ（モンブラン）に「おめでとう！」と記した旗を立てて出迎えてくれました。隣で高2の息子も一言。「そんなことやった人なんて普通に見渡してもそういないんじゃない。キモいわー」。「すごい」の最上級のほめ言葉です、たぶん。（11月27日記）

## 沖縄と連帯する島根の会　－講演と総会－

### 「やんばるからの伝言」

**と　き**　12月19日（土）13時30分～
**ところ**　松江市・県民会館大会議室
**講　師**　伊佐育子さん（「ヘリパッドいらない」住民の会結成メンバー）
●資料代 300円　＊講演終了後、定期総会を開催します。
主　催：沖縄と連帯する島根の会

# くらしと命を守る県政へ

## ④土砂災害要対策箇所の整備状況（上）と防災・減災、国土強靭化に必要な県予算1兆円の内訳（下）

日本共産党県議団（尾村利成、大国陽介の両県議）が県に対して資料要求し、入手したデータ（資料）について紹介していきます。

**●江の川の堤防整備率は上流広島県69%に対し下流島根県は15%**

江の川下流域の国の河川改修事業予算の推移（この5年間）は、平成28年度は17億5千万円、平成29年度は13億9千万円、平成30年度は17億6千万円、平成31年度は26億6千万円、令和2年度は当初予算で10億7千万円という状況にあります。

堤防整備が遅々として進まず、幾度となく浸水被害に遭った被災者や地域からは、泣く泣く移転を決断せざるを得ないとの声も出ています。堤防整備や水防災事業の大幅な予算増額、事業のさらなる推進は待ったなしです。

**●安全・安心の防災・減災対策こそ、公共事業の柱に**

近年、豪雨や台風など大規模災害が相次ぎ、今日、公共事業を大型開発・新規事業優先で進めていていいのかが問われています。

県は、わずか10分間の時間短縮のために総事業費250億円もの税金を投入する「松江北道路」（10・5㌔）について10月末から都市計画決定の手続きに入り、2021年度にも事業着手する予定です。北道路の近傍には宍道断層（39㌔）が走り、松江市の土砂災害要対策箇所の整備率はわずか2割程度の状況です。（右上図）

防災・減災、国土強靭化に関し、今後の取り組みに必要な県予算（右下図）は約1兆円です。住民からは北道路について「無秩序な乱開発は災害への対応力を弱体化させ、被害を広げる」などの意見が出されています。最優先すべきは、住民合意のない大型公共事業ではなく、住民の命と安全を守る事業です。

| 市町村名 | 要対策箇所 | うち整備済箇所 | % | うち未整備箇所 | % |
|---|---|---|---|---|---|
| 松江市 | 780(3) | 136(2) | 17.4 | 644(1) | 82.6 |
| 安来市 | 237 | 34 | 14.3 | 203 | 85.7 |
| 雲南市 | 525(1) | 113(1) | 21.5 | 412(0) | 78.5 |
| 飯南町 | 101 | 15 | 14.9 | 86 | 85.1 |
| 奥出雲町 | 199 | 47 | 23.6 | 152 | 76.4 |
| 出雲市 | 631(3) | 117(1) | 18.5 | 514(2) | 81.5 |
| 大田市 | 456(1) | 83(0) | 18.2 | 373(1) | 81.8 |
| 川本町 | 120 | 23 | 19.2 | 97 | 80.8 |
| 美郷町 | 174 | 30 | 17.2 | 144 | 82.8 |
| 邑南町 | 234 | 10 | 4.3 | 224 | 95.7 |
| 浜田市 | 610(1) | 122(0) | 20.0 | 488(1) | 80.0 |
| 江津市 | 250(1) | 24(1) | 9.6 | 226(0) | 90.4 |
| 益田市 | 608(2) | 135(1) | 22.2 | 473(1) | 77.8 |
| 津和野町 | 280 | 59 | 21.1 | 221 | 78.9 |
| 吉賀町 | 223 | 41 | 18.4 | 182 | 81.6 |
| 隠岐の島町 | 233(1) | 61(1) | 26.2 | 172(0) | 73.8 |
| 海士町 | 84 | 21 | 25.0 | 63 | 75.0 |
| 西ノ島町 | 104 | 30 | 28.8 | 74 | 71.2 |
| 知夫村 | 40 | 14 | 35.0 | 26 | 65.0 |
| 合計 | 5,889(13) | 1,115(7) | 18.9 | 4,774(6) | 81.1 |

※対象は、砂防、地すべり、急傾斜。土砂災害要対策箇所は平成14年度に取りまとめたもの
※（ ）内数値は平成15年度以降に新たに地すべり対策を要するとした箇所を外数として反映
※整備済箇所は令和元年度末の実績

| 事　項 | 概算費用 |
|---|---|
| ●防災・減災、国土強靭化を図る主な事業 | |
| ・緊急輸送道路の未整備区間の整備 | 1,500億円 |
| ・道路斜面の落石対策、橋梁等の耐震化 | 1,000億円 |
| ・整備が遅れている市街地部の河川整備、洪水予報河川及び水位周知河川の改修 | 3,000億円 |
| ・土砂災害から避難所や避難道路等を保全するための砂防施設整備 | 3,000億円 |
| ・下水道管路の耐震化、処理場・ポンプ場の改築 | 500億円 |
| ・防波堤等の整備 | 500億円 |
| | 9,500億円 |